

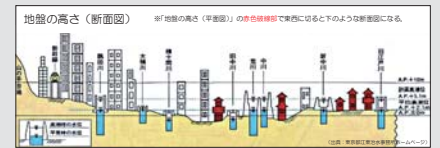
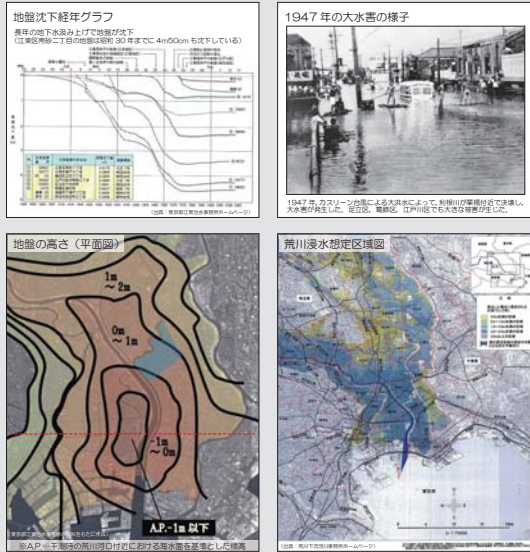
『新小岩北地区 安全・快適まちづくり輪中会議』ができるまで ～新小岩北地区での取り組みの記録①～

「広域ゼロメートル市街地」とは？

東京、大阪、名古屋には地下水の過剰な汲み上げに伴う地盤沈下によって水面下となった高密、広域の市街地（「広域ゼロメートル市街地」）が存在する。ハリケーン・カトリナによって水没したニューオーリンズのように、広域ゼロメートル市街地で大規模水害が発生した場合、甚大な被害が生じることが予想される。また、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）（2007年）によると、将来の海面上昇、台風の大規模化、極端な気象現象の増加が予測されている。今後、徐々に増加する水害リスクに対し、広域ゼロメートル市街地では何らかの対策を講じる必要がある。

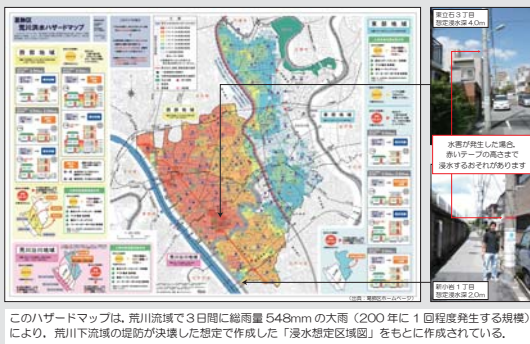
私たちが住んでいるところはこんなところ

広域ゼロメートル市街地は、地下水の過剰な汲み上げによって地盤が沈下したため、水害に対する危険性が高まってしまった地域である。荒川浸水想定区域図によれば、概ね200年に1回程度起こる大雨で荒川が氾濫した場合、足立区、葛飾区、江戸川区、墨田区、江東区は、ほぼ全域が浸水するとされている。この地域には、約200万人が居住している。このなかでも、葛飾区、江戸川区、墨田区、江東区の荒川沿川地域では、干潮面よりも低い地域がみられる。干潮面以下の地域、満潮面以下の地域、高潮の危険に晒されている地域は、それぞれ31 km²、124 km²、255 km²にもおよび、



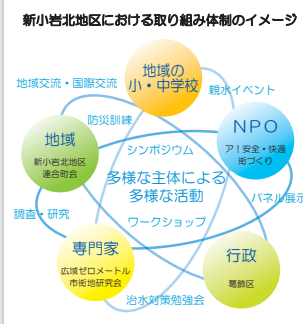
洪水ハザードマップと避難

近年相次ぐ水害を受けて、2001年、2005年に水防法が改正され、自治体は、浸水想定区域や避難場所を明記した洪水ハザードマップを作成・公開することが義務づけられている。しかし、葛飾区荒川洪水ハザードマップを見ると、区内では避難場所を確保することができないため、沿川の大半の地域では、松戸市や市川市まで避難せざるを得ない状況である。荒川が氾濫した場合、葛飾区では44万人のうち、28万人が避難するとされ、大移動が見込まれているが、はたして実際に避難することができるのか、乗り越えなければならない課題が山積している。



安全で快適なまちをめざして

新小岩北地区では、2006年から、NPOア！安全・快適街づくり、新小岩北地区連合町会、専門家（広域ゼロメートル市街地研究会）の三者が一体となり、行政、地域の小・中学校とも連携して、広域ゼロメートル市街地における大規模水害への備え方を検討するため、様々な取り組みを行っている。



新小岩北地区におけるこれまでの取り組み

新小岩北地区では、地域の水害リスクを理解するため、ワークショップを行い、具体的な対策を考えてきた。地域での取り組みを広げるためのシンポジウムの開催、パネル展示、まちづくり会議への参加、国際交流等も行ってきた。世代を超えた取り組みの持続性を高めるため、子どもと共に地域の安全・快適まちづくりを考える活動にも取り組んでいる。



水害対策ワークショップ (WS) (勉強会)

地域の水害リスクや行政の防災体制の現状を勉強した。それらを踏まえ、水害発生時に備えた自助・共助のあり方、被災生活のイメージ、水害に強い市街地の目標像を議論・検討してきた。

水と親しみ、水を楽しむ

ときには、水と親しみながら、水害対策や水を活かしたまちづくりについて議論を行ってきた。

地域内での普及・広報活動

シンポジウムやパネル展示を行い、水害に関して地域が抱えている問題や取り組み状況を、地域の多くの人に広げてきた。2008年5月のシンポジウムでは、「新小岩宣言」を採択し、地域として大規模水害に備えていくことを確認した。

新小岩北地区の取り組みを全国、世界へ発信

様々なイベントを通して、全国のまちづくり関係者、東アジアの防災リーダーたちと意見交換・交流を行ってきた。

行政との協働まちづくりへ

2010年5月よりNPOア！安全・快適街づくり、町会、専門家、葛飾区、東京都、国からなる勉強会を立ち上げ、西新小岩周辺地域をモデルとして、広域ゼロメートル市街地における水害対策の検討を開始した。

地域主導の取り組み～新小岩北地区 地域の底力～

新小岩北地区では、これまで様々な活動を行ってきたが、最近では、町会の主催による取り組みが頻りに行われている。

2009年度 東京都「地域の底力再生事業」

町会の方が事前に講習を受けた上で、GISを操作しながら、地域がもつ水害リスクについて町会のメンバーに説明した。

次への行動へ向け

2010年6月に行ったシンポジウムでは、親水・耐水まちづくりを進めていくための行動を明確にするため、新小岩宣言に続き、新小岩行動宣言-1を採択した。

地域・専門家・NPO・行政の協働による対策の検討

「葛飾区西新小岩周辺地域における安全・快適街づくり勉強会」

この勉強会は、これまでの取り組みを生かし、NPO、住民、専門家、行政が連携し、「新しい公共」として、当該地域における治水対策に対し、自由な意見交換により、現状を発展的に進展させるための考え方を整理し、地域のニーズにあった対策を提言するために、2010年5月に設置されたものである。

2010年5月 勉強会 (5月21日) 作業部会
 2010年6月 シンポジウム (8月27日) 第1回作業部会 (5月28日)
 2010年7月 シンポジウムの成果取りまとめ 第2回作業部会 (7月20日)
 2010年8月 第3回作業部会 (8月9日)
 2010年9月 第4回作業部会 (9月8日)
 2010年10月 シンポジウム (10月19日) 第5回作業部会 (10月26日)
 2010年11月 第6回作業部会 (11月27日) 第7回作業部会 (12月7日)
 2010年12月 第8回作業部会 (1月18日)
 2011年1月 第9回作業部会 (2月28日)
 2011年2月 第10回作業部会 (3月28日)
 2011年3月 第11回作業部会 (4月28日)

2011年以降の取り組み課題
 ①安全避難高台の確保 ②浸水対応型建築物の整備
 ③近隣継続計画 (LCCP) ④輪中共同体会議

地域主体の活動への展開

大人から子どもへ (第8・9回 WS)

専門家が、地域の人々が水害リスク情報を学習するためのツールを開発し、このツールを利用して、地域の大人と子どもと一緒に学習するWSを行った。

Google Earthを利用した水害リスク学習ツール

学校の動き！
 第8・9回WSで地域の水害リスクについて学んだ上平井中学校の生徒たちが、今回の東日本大震災で被災した人たちのために、街頭募金を行った。また、彼らはWSで学んだことを契機として、地域の抱える水害リスクを自分たちの目で観察するまち歩きを行っている。今秋の学校の文化祭で、PTAや全校生徒に向けて、彼らが学んだ地域の水害リスクや自分たちで考えた地域への提言を発表する準備を進めている。新小岩北地区のその他の小中学校においても、PTAと地域が一体となり、地域の水害リスクに関する知見を広める活動を始めようとしている。

このパネルに関するお問い合わせは、広域ゼロメートル市街地研究会、もしくは、NPOア！安全・快適街づくりまでご連絡ください。

広域ゼロメートル市街地研究会
 〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1 Bw605
 Tel: 03-5452-6474, FAX: 03-5452-6476
 http://kato-sssuis.u-tokyo.ac.jp/zero/too.html

NPOア！安全・快適街づくり
 〒124-8535 東京都葛飾区西新小岩3-5-1
 FAX: 03-3696-7480
 http://www.banktown.org

パネル制作：塩崎、渡根、中井 (広域ゼロメートル市街地研究会、NPOア！安全・快適街づくり)

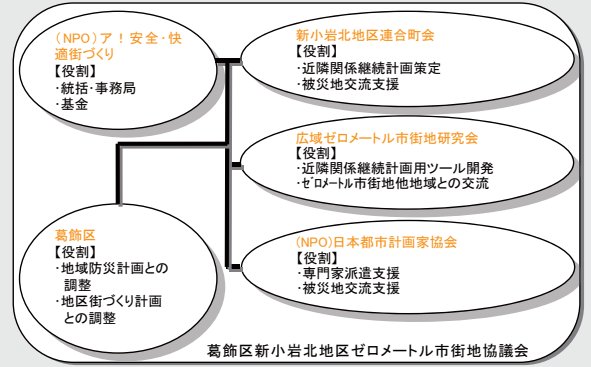
～新小岩北地区での取り組みの記録②～

「広域ゼロメートル市街地」に位置する葛飾区新小岩北地区では、2006年から、NPO、地域の連合町会、専門家が連携し、地域住民が水害リスクを理解するためのワークショップを行い、具体的な対策を考えてきた。地域での取り組みを広げるためのシンポジウムの開催、パネル展示、まちづくり会議への参加、国際交流も行ってきた。現在、地域・世代を超えた取り組みの持続性を図るため、行政、小・中学校、企業とも協働して活動している。2011年度に新小岩北地区ゼロメートル市街地協議会を立ち上げ、地域の安全・快適まちづくりに取り組んでいる。

葛飾区新小岩北地区ゼロメートル市街地協議会

本協議会は、2011年度に新しい公共の場づくりのためのモデル事業（東京都新しい公共支援事業）に採択され、2006年から継続してきた取り組みを基に、左図の通り5つの団体が連携して様々な活動を行っている。

本協議会は、①町会内部への展開、②学校や保育園等、町内にある地域を基盤とする組織への展開、③関心を持たない層への展開、④他の地域への展開、という4つの展開に加え、「防災【だけ】まちづくり」から「防災【も】まちづくり」への展開を考えている。「防災」で培った地域の力を活用し、福祉や親水等、この街を快適にしていくという総合的な取り組みを目指して活動している。



多様な主体による多様な取り組み ～知恵と経験の共有～

シンポジウム「街を暮らしを、みんなでどう守るか～大規模水害に備えて～」
(2012年3月18日)



「ゼロメートル市街地の安全・安心で豊かな暮らしの現に向けたまちづくり宣言」

- 一、地域社会の多様な主体が協力し、安全・安心プログラムを推進します。
- 二、多様な主体が連携して地域社会全体での知恵の共有を進めます。
- 三、ゼロメートル市街地まちづくりネットワークの構築と全世界に向けて情報発信を行います。

地域の底力 避難用ボート使用訓練
(2012年3月12日, 9月9日)

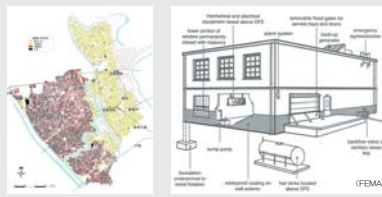


避難所運営会議（上平井小学校、二上小学校）
(2011年11月, 2012年2月)



浸水対応型市街地研究会
(2011年～)

安全避難高台の確保 / 浸水対応型建築物の検討



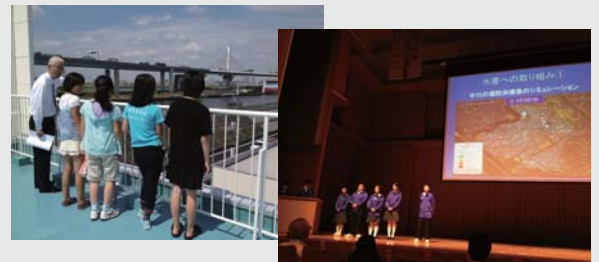
葛飾区都市計画マスタープラン
(2011年7月)



新小岩北地区 安全・快適まちづくり輪中会議の設立
(2012年9月23日)



中学生たちの取り組み（上平井中学校）
(2011年3月～)



このパネルに関するお問い合わせは、広域ゼロメートル市街地研究会、もしくは、NPOア!安全・快適街づくりまでご連絡ください。

広域ゼロメートル市街地研究会
〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1 Bw605 (加藤孝明研究室)
Tel : 03-5452-6474, FAX : 03-5452-6476
<http://kato-sss.iis.u-tokyo.ac.jp/zero/top.html>

NPOア!安全・快適街づくり
〒124-8535 東京都葛飾区西新小岩3-5-1
FAX : 03-3696-7480
<http://www.banktown.org>